

辻善之助文庫について

歴史学者辻善之助（1877～1955）旧蔵の原稿、メモ書き、日記、書簡、史料、写本、写真乾板、雑誌など約 18,000 点の資料を辻善之助文庫として収蔵している。姫路文学館の開館を目前にした平成 2 年（1990）秋を初回に、それから約 20 年にわたり逐次、辻の次男で歴史学者の辻達也氏から寄贈されたものである。

辻は実証的方法に根ざした歴史学において日本仏教史研究の基礎を構築するとともに、東京大学史料編纂所に明治 30 年代の草創期から関わり、日本史の官学アカデミズムの樹立に貢献した。

昭和 30 年（1955）の辻の死去の 4 年後、史料編纂所に「日本仏教史」、「日本文化史」（「国史提要」を改題）など代表作をはじめとする著作、論文原稿、研究メモなど約 2800 点が寄贈された（特殊蒐書「辻善之助関係史料」として分類）。それらには辻が史料編纂所長の要職を務めたことから、議案や報告書といった公的文書（それらの草稿もある）などの資料も含まれる。

姫路文学館への寄贈の過半は平成 7 年（1995）におこなわれたが、平成 13 年（2001）にはそうした資料を活用、辻の生涯を辿るのに加えて、彼の欧米巡回旅行をメインテーマとする特別展を実施した（「二人のヨーロッパ 辻善之助と和辻哲郎」、図録あり）。

辻善之助文庫として収蔵された資料には、第一に挙げるべきものとして「日本仏教史講義資料」28 部（全部でなく一部。付表 1 を参照）や「大日本仏教史料綱文」全 34 冊（付表 2 を参照）、「日本史籍目録」全 17 部といった辻の研究においてツール、材料となったものがある（著書の原稿—ほとんどは史料編纂所に収蔵済—といった類は多くないといえる）。ついで展覧会翌年の平成 14 年（2002）に受入れた日記、手帳、旅行記録—日記は姫路尋常中学校卒業のころから、終生ほぼ途切れなかった—といったものが挙がる。こうして見てくると、史料編纂所に行かず辻家に残ったのは、どちらかという個人色の濃いもので、原稿などは印刷所に送れば手を離れたものと考えられたのかもしれない。

個人的なものというと、辻の受取り書簡、辻が家族などあてに書いた書簡、それに辻の家族あてにきた書簡等々、合計 7,000 通があり、日記と同様にほぼ生涯にわたっている（とはいえ時期によって多い、少ないがあり一律に伝わっていない）。辻は、親しかった新村出（言語学）、波多野精一（宗教哲学）をはじめ明治、大正、昭和の錚々たる文化人—もちろん歴史学者が多い—から手紙を受取っている。

辻のコレクション資料では、絵はがき（欧米旅行中に収集した 3,200 枚をふくむ）5,400 枚、欧米の複製画 200 枚が圧巻である。史料写真のガラス乾板等 600 枚は、自著の図版に使用するための収集だったろう。

製本して保管していた雑誌 2,200 冊の誌名をあげると「国史学」、「古典研究」、「史苑」、「史学研究」、「史潮」、「史林」、「中央史壇」、「日本歴史」、「歴史学研究」、「歴史公論」、「歴

史地理」がある。学生のころの受講ノートも大切に製本していたが一逐一しるすと一星野恒（「足利時代史」、「南北朝史」、「古文書学」）、高楠順次郎（「インド仏教及びその文学」）、栗田寛（「職制、地理」、「古史打聴 古語拾遺講義」）、田中義成（「古文書学」、「戦国史」）、坪井正五郎（「人類学」）、那珂通世（「清朝儒学史、支那書目解題、元史備考」、「日本支那朝鮮交通史」）、三上参次（「徳川時代史」、「日本法制史」）、黒川真頼（「日本建築史」）、井上哲次郎（「日本哲学史 陽明学派」）、前田慧雲（「日本天台仏教」、「仏教々理史」）、小杉楡村（「日本美術 雑説」）、宮崎道三郎（「日本法制史」、「比較法制史」）、村上専精（「仏教通論」）、坪井九馬三（「歴史研究法」）が残っている。さらにルートヴィヒ・リース博士の現代史—といっても19世紀後半からの歴史—を4分冊で筆記（英語）しているが、稀少なものなのだろうか。リースの関連では、世界史講義の梗概（先史時代）のガリ版刷（16枚）もある。

辻は—ある種、歴史学者に特有の傾向なのか—保存癖があったらしく、寄贈されたものには、たとえば著作の出版契約書18通があり、明治末の数年間の辻家の家計にかかわる請求書と領収書1,300通が入っていた。たとえば昼食の店屋物に何をとったかが知られるし、車屋や八百屋、洗濯屋の支払い、電気代やガス代、購読雑誌等々も詳細に分かる。明治の東京における中流家庭—この頃辻は帝国大学助教授だった—の暮らしむきがどうだったか、さらに家族間の手紙から日々の生活のようすも浮かび上がる。近代社会史の資料として価値があると考えたい。

辻の洋行中の洋服、お土産、書籍、チケットの購入伝票、ホテルやレストランの領収書など95点は、日記の記述と照合すると興味深い。明治44年（1911）から大正元年（1912）の旅行だが100年以上前の文書となるとなおさら稀少なのではないだろうか。

【付表1】

日本仏教史講義資料・一覧

姫路文学館に28部、東京大学史料編纂所に6部が収蔵されている。

作品名	登録番号
【この間の巻は所在不明】	
国史ニ於ケル政教関係講義資料 11ノ次 鎌倉時代之仏教 旧仏教ノ状態	39-01-000004
国史ニ於ケル政教関係講義資料 17上 鎌倉時代之仏教七上 親鸞之研究・本願寺の起源上	39-01-000005
国史ニ於ケル政教関係講義資料 17下 鎌倉時代之仏教七下 親鸞之研究・本願寺の起源下	39-01-000006
講義資料 18 鎌倉時代之仏教八 一遍・日蓮	39-01-000007
【19は所在不明】	
日本仏教史講義資料 20ノ上 鎌倉時代之仏教 第十ノ上 旧仏教・華嚴	39-01-000008
国史ニ於ケル政教関係講義資料 20ノ下 鎌倉時代之仏教十ノ下 戒律復興	39-01-000009

国史ニ於ケル政教関係講義資料 21 上 鎌倉時代の仏教 第十一上 新旧諸宗の衝突	39-01-000010
日本仏教史講義資料 21 ノ下 鎌倉時代の仏教 第十一ノ下 時代・民俗・信仰	39-01-000011
国史ニ於政教関係講義資料 22 南北朝時代の仏教一	39-01-000012
講義資料 23 南北朝時代の仏教二	39-01-000013
講義資料 24 足利時代の仏教一	39-01-000014
日本仏教史講義資料 25 足利時代の仏教二 義満 五山制度 義持	39-01-000015
日本仏教講義資料 26 足利時代の仏教三 地方大名と仏教	39-01-000016
日本仏教史講義資料 27 足利時代の仏教四 日蓮宗 富士分派之顛末	39-01-000017
日本仏教史講義資料 28 足利時代の仏教五 日蓮宗・諸国伝播	39-01-000018
日本仏教史講義資料 29 足利時代の仏教六 旧仏教 南都北嶺 義教之叡山撃 満濟准后	39-01-000019
日本仏教史講義資料 30 上 足利時代の仏教七ノ上	39-01-000020
日本仏教史講義資料 30 下 足利時代の仏教七ノ下 東山時代一ノ下	39-01-000021
日本仏教史講義資料 31 足利時代の仏教八 曹洞 大智 菊池氏	39-01-000022
日本仏教史講義資料 32 足利時代の仏教九 浄土	39-01-000023
日本仏教史講義資料 33 足利時代の仏教十 一向一揆 蓮如 実如	39-01-000024
日本仏教史講義資料 34 足利時代の仏教十一 一向一揆	39-01-000025
日本仏教史講義資料 35 ノ上 足利時代の仏教十二ノ上 日蓮宗	39-01-000026
【35 ノ下は所在不明】	
日本仏教史講義資料 36 上 安土時代の仏教 叡山焼撃 本願寺ト信長上	39-01-000027
日本仏教史講義資料 36 下 本願寺ト信長下 安土時代ノ内	39-01-000028
日本仏教史講義資料 36 安土時代の仏教 付録材料	39-01-000029
日本仏教史講義資料 37 桃山時代の仏教一	39-01-000030
日本仏教史講義資料 38 桃山時代の仏教二	39-01-000031
【この間の巻は所在不明】	
日本仏教史講義資料 四十二 (昭和四年度)	史料編纂所所蔵
【この間の巻は所在不明】	
日本仏教史講義資料 46 江戸時代の仏教七 元禄時代の仏教一	史料編纂所所蔵
日本仏教史講義資料 47 江戸時代の仏教八 元禄時代の仏教二	史料編纂所所蔵
日本仏教史講義資料 48 江戸時代の仏教九 僧侶ノ墮落一商売	史料編纂所所蔵
日本仏教史講義資料 49 ノ上 江戸時代の仏教十ノ上 仏教衰微の由来	史料編纂所所蔵
日本仏教史講義資料 49 ノ下 江戸時代の仏教十ノ下 墮落	史料編纂所所蔵

※史料編纂所には、「日本仏教史材料」の表題で「排仏論」、「排仏説」を儒者、国学者、大名などについてまとめた史料が収蔵されている。

※史料編纂所が所蔵する「日本仏教史講義資料 47 江戸時代の仏教八 元禄時代の仏教二」は姫路文学館の開館時の常設展のために表紙と2ページのレプリカを制作した。

【付表2】

大日本仏教史料綱文一覧

資料名	登録番号
大日本仏教史料綱文 一 自仏教傳來至持統天皇	39-00-000023
大日本仏教史料綱文 二 自文武天皇至天平二十年	39-00-000024
大日本仏教史料綱文 三 自天平二十一年至天應元年	39-00-000025
大日本仏教史料綱文 四 延暦 大同	39-00-000026
大日本仏教史料綱文 五 弘仁 天長	39-00-000027
大日本仏教史料綱文 六 仁明天皇、文徳天皇 自承和元年至天安二年	39-00-000028
大日本仏教史料綱文 七 清和天皇 自天安二年至貞観十八年	39-00-000029
大日本仏教史料綱文 八 陽成天皇 光孝天皇 自元慶元年至仁和三年	39-00-000030
大日本仏教史料綱文 九 塙史料綱文 仏教事項 宇多天皇事記 醍醐天皇事記	39-00-000031
大日本仏教史料綱文 十 塙史料綱文 仏教事項 朱雀天皇事記 村上天皇事記	39-00-000032
大日本仏教史料綱文 十一 塙史料綱文 仏教事項 冷泉天皇事記 圓融天皇事記 花山天皇事記	39-00-000033
大日本仏教史料綱文 十二 塙史料綱文 仏教事項 一條天皇事記	39-00-000034
大日本仏教史料綱文 十三 塙史料綱文 仏教事項 三條天皇事記 後一條天皇事記	39-00-000035
大日本仏教史料綱文 十四 後一條天皇 後朱雀天皇 後冷泉天皇 萬壽二-四 長元元-九 長暦元-三 長久元-四 寛徳元、二 永承元-七 天喜元-五 康平元-七 治暦元-四	39-00-000036
大日本仏教史料綱文 十五 後三條天皇 白河天皇 延久元-五 承保元-三 承暦元-四 永保元-三 應徳元-三	39-00-000037
大日本仏教史料綱文 十六 堀河天皇 寛治元-七 嘉保元、二 永長元 承徳元、二 康和元-五 長治元、二 嘉承元、二	39-00-000038
大日本仏教史料綱文 十七 鳥羽天皇 天仁元、二 天永元-三 永久元-五 元永元、二 保安元-四	39-00-000039
大日本仏教史料綱文 十八 崇徳天皇 天治元、二 大治元-五 天承元 長承元-三 保延元-六	39-00-000006
大日本仏教史料綱文 十九 近衛天皇 永治元 康治元、二 天養元 九安元-六 仁平元-三 久壽元、二	39-00-000007
大日本仏教史料綱文 二十 後白河天皇 二條天皇 六條天皇 保元元-三 平治元 永暦元 應保元、二 長寛元、二 永萬元 仁安元-三	39-00-000008
大日本仏教史料綱文 二十一 高倉天皇 安徳天皇 後鳥羽天皇 嘉應元、二 承安元-四 安元元-二 治承元-四 養和元 壽永元-二 元暦元-二	39-00-000009

大日本仏教史料綱文 二十二 正治元、二 建仁元一三 元久元、二 建永元 承元元一四 建曆元、二 建保元一六 承久元一三 貞應元、二 元仁元 嘉祿元、二 安貞元、二 寛喜元一三 貞永元 天福元 文曆元 嘉禎元一三 曆仁元 延應元 仁治元一三 寛元元一四 寶治元一三 建長元一七 康元元 正嘉元一三 正元元 文應元 弘長元一三	39-00-000010
大日本仏教史料綱文 二十三 文永元一十一 建治元一三 弘安元一一〇 正應元一五 永仁元一六 正安元一三 乾元元 嘉元元一三 徳治元、二 延慶元一三 應長元 正和元一五 文保元、二 元應元、二 元亨元一三 正中元、二 嘉曆元一三 元徳元、二 元和元一三	39-00-000011
大日本仏教史料綱文 二十四 曆應元一四 康永元一三 貞和元一五 觀應元一三 文和元一四 延文元一五 康安元 貞治元一六 應安元、二 (延元三四 興國元一六 正平元一二十四)	39-00-000012
大日本仏教史料綱文 二十五 建徳元、二 文中元一三 天授元一六 弘和元一三 元中元一三 (應安三一七 永和元一四 康暦元、二 永徳元一三 至徳元一三 嘉慶元、二 康應元 明徳元一三) 明徳四 應永元一三十四	39-00-000013
大日本仏教史料綱文 二十六 正長元 永享元一十二 嘉吉元一三	39-00-000014
大日本仏教史料綱文 二十七 文安元一五 寶徳元一三 享徳元一三 康正元、二 長祿元一三 寛正元一六 文正元 應仁元、二	39-00-000015
大日本仏教史料綱文 二十八 (文明 長享 延徳 明應 文龜 永正)	39-00-000016
大日本仏教史料綱文 二十九 大永元一七 享祿元一四 天文元一二十三 弘治元一三 永祿元一六	39-00-000017
大日本仏教史料綱文 三十 永祿五一十二 元龜元一三 天正元一十九 文祿元一四 慶長元一七	39-00-000018
大日本仏教史料綱文 三十一 慶長十四一十九 元和元一九 寛永元一二十 正保元一四 慶安元、二、	39-00-000019
大日本仏教史料綱文 三十二 慶安二一四 承應元一三 明暦元一三 萬治元一三 寛文元一十二 延寶元一八 天和元一三 貞享元一四 元禄元一十六 寶永元一七	39-00-000020
大日本仏教史料綱文 三十三 正徳元一五 享保元一二〇 元文元一五 寛保元一三 延享元一四 寛延元一三 寶暦元一一三 明和元一八 安永元一九 天明元一八	39-00-000021
大日本仏教史料綱文 三十四 (寛政 享和 文化 文政 天保 弘化 嘉永 安政 万延 文久 元治 慶応)	39-00-000022